

THE CHECK

MIKE BALTER & Encore mallets, inc.



米国発の人気マレットブランド、マイク・バルターとアンコール・マレットから発売の、2017年のニューアイテムをチェック!

マイク・バルター

古徳景子マリンバ・マレット



一番小さいヘッドのMB-521Bのみヘッドの形がオーバル。MB-522B～527Bはマッシュルーム形に統一。【仕様】柄：サテンパーチ柄／巻き糸：オフホワイト／全長：約435mm
【品番】MB-521B(エクストラ・ハード)～MB-527B(エクストラ・ソフト)の全7種【価格】各モデル¥6,700+ 税



古徳景子/マリンバリスト、チアバス州立芸術科学大学准教授

マイク・バルター社と昨年アーティスト契約を結んだ、日本が誇るマリンバリスト、古徳景子さんのシグネチャー・シリーズが早くも登場! 昨年のPASICで情報がリリースされ、春先に初入荷しました。ヘッドの重いマレットが業界を席巻する昨今ですが、古徳さんが選んだ仕様は、何と「軽いマレット」。「重さが負担になり、技術の幅を狭めてしまう」事態を憂慮し、誰もが健やかに、長く使えるマレットを目指したということです。以下は古徳さんご本人からのコメントです。

「私自身すごく手が小さいということ、そして、マレットとは一緒に居る時間が長いものです

よね(練習はもちろん、演奏会場への移動も含め)。なので、『持ちやすく、軽い。でも本当の音色』をコンセプトに制作しました。またどの色にもどの音楽にも染まれる色として、糸は「白」を選びました。練習をたくさんし、糸がほどけてしまい、もう一度自分で巻きなおす際、元の音に近づけるように特にこだわったのは柄とゴムの芯です。(私の経験上、ラテンアメリカではまだまだたくさんのマレットを買う環境の演奏者は少ないです。練習をたくさんして毛糸を巻きなおす事がほとんどですので、自分で巻いても今の音に近づけるように、糸にこだわるのはなく、中のゴムの質をすごく考えました。)

ゴムは重すぎず、繊細な指の動きを伝えることが出来るサイズです。白い毛糸の柔らかさはロールなどの響きを鳴らし、芯のゴムではっきりとした打音が鳴らせます。

こだわったのは、指先の繊細な動きから腕のダイナミックな動きを全て振動させてくれる(伝えてくれる)マレットです。深みのある低音から、からっとした明るい高音をミックス出来るように7種類(1はExtra Hard, 7はExtra Soft)の音色にわけました。曲によりどのマレットを使うかは変わりますが、低音から高音にかけて5, 4, 3, 2の組み合わせは多種多様なマリンバソロ曲に適しています。

同様に、メキシカンマリンバ一家に生まれ、メキシカンマリンバ奏者として初めてジャズバ

イプソリストとして活躍するアレクサンダー・クルズは、『重いマレットが、テクニックの幅を半減してしまう。なるべく手の負担をかけない重さで、音の質にはこだわるマレットが必要だ』と言ってくれました。それに叶ったマレットが出来たと思います。(メキシカンマリンバのマレットはとても軽く、柄も細いです。その特徴を生かしたロールの早さや4本マレットの交互の動きのスピード。それがクラシックマリンバにも生かされると私も思います。)

軽いマレットなので、たくさんの方に問題なく使って頂けるとと思います。とくに1番と2番は軽く触っただけで、打音がクリアに出ますので、木琴や2本マレットのソロ曲に合っています。上級者の方には7種類の中から、いろいろなバリエーションで4本撥の組み換えをし、曲に合わせて音の厚さを考えて使って頂きたいです。

マリンバリストにとって、マレットは自分の音楽性を助けてくれる最高のパートナーです。また演奏中は、私の体の一部だと思い演奏しています。演奏という唯一で大事なこの時間を、このマレットと一緒に自分の音楽を探して頂けたら嬉しいです!



固くしっかりと巻かれたマレットヘッド。



古徳モデルの誕生にも一役買った、メキシカン・マリンバ奏者でジャズ・ヴィブラフォニストのアレクサンダー・クルズ氏